



本校は、2009年に西日本初の国際バカロレア（IB）DP認定を受けた一校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

広島国際ジュニアフォーラムにAICJ生16名が選抜



（提供：外務省）

8月21日から4日間の日程で、国内外から集まった外国人中学生40名余りと、県内から選抜された中学生40名が、広島国際会議場集まりました。平和のメッセージを世界に発信するとともに、国際的な相互理解を深め、次世代の人材育成と国際平和拠点性の向上を図るのがこのフォーラムの目的です。本校からは中学・高校合わせて16名もの生徒が選ばれ参加しました。テレビや新聞でも取り上げてもらいました。写真は代表の一人として「広島宣言」を岸田外務大臣へと届けた高1の奥菜々美さんです。

報告とお礼を兼ねて、国連大学本部の根本がおるさんと外務省を訪問し代表して「広島宣言」を手渡しました。



湯崎広島県知事を中央に記念撮影



募集要項の表紙の写真は、下記に登場する高3の植重亮くんがG7青少年外相会合広島に参加したときのものです。

三重の高校生サミットへ招待



5月の伊勢志摩サミットを受けて開催された「ジュニアサミットin三重」に、広島の高校生の代表の一人として高3の植重亮くんが参加しました。4月の「G7青少年外相会合広島」参加をきっかけにして招待されました。広島県と三重県の高校生が報告会及びグループディスカッション等を通して交流を深めました。「将来私たちが国際社会で活躍するためにできること」をテーマに、内容の濃い議論が展開されました。

中1 English Camp

中1生は8月に2泊3日で、イングリッシュキャンプを行いました。「日本語禁止」が大きなルールとしてありました。アクティビティーも英語、トイレに行くときも英語、ハイキングの説明も英語…普段以上に英語尽くしの3日間でした。



第1回英検結果速報

新たに

1級に4名・準1級に21名が合格

今年度在籍生の6名が1級 54名が準1級に合格しています。

香港からの修学旅行生との文化交流

AICJには、毎年の定期的なNZからの留学生来校のほか、不定期に外国の中高生が来校します。今回は、6月30日に香港の学校「Po Leung Kuk C. W. Chu College」より、G9～G11(日本でいう中3～高2)の生徒27名が来校しました。広島への修学旅行にあわせて、英語でコミュニケーションできる学校を訪問し、日本の同年代の学生と交流したいとのことで、今回の交流会が実現しました。高1の生徒がおもてなしの全てを企画運営してくれました。



折鶴体験



広島名物もみじ饅頭と日本茶でおもてなし

広島の文化を紹介するために、世界遺産である原爆ドームや厳島神社、お好み焼きについてもプレゼンし、最後はJポップを披露して記念撮影をしました。



原田さんの実験の様子



ブリスベンでのひとコマ

オーストラリアQUTでの研究参加

この夏休みにオーストラリアにある Queensland University of Technologyで、高2の高田佳歩さんと原田磨瑠さんが生物の研究に参加してきました。普段では到底できないスケールの大きな研究は、彼女たちの貴重な経験となったようです。

【高田さんのコメント】

最初は、内容はもちろん生物の専門用語においても英語であったため錯乱状態でした(笑)。しかし、研究のデザインや実験を進めていくと英語という言語の壁は問題ではないということに気づかされました。言語はあくまでも実験を進める上では一つの道具でしかなく、積極的に行動を起こした方が効率よく相手に伝わるということも学びました。もちろん英語の発音や語彙力も一段と向上し、最終的には論文を発表できるまでになりました。自分自身の意見や英語力に自信を持つことの大切さに気付かせてくれました。

ご指導いただいたエリーナ先生とデリック先生



夏休みニュージーランド語学研修

最終日、先生にメッセージを書いた扇子をプレゼントしました。



クラスでの様子



先生との距離もとても近く、発言しやすい環境です。

中2生5名と高1生5名が7月16日から8月24日までニュージーランドでの語学研修に参加しました。今回は生徒は1～2人でのホームステイで、毎朝バス通学をしました。最初は道に迷ったりバスを間違えたり、多くの困難にぶつかりましたが、その都度、現地の人に英語で尋ねるなどして「英語で生活」をしてきました。この異文化経験を、今後の学習や将来設計の糧にしてくれることを期待しています。